

地質サイトカード

カードNo.		A-①-6	通しNo.	6	作成日	2025/3/10	
サイト名		赤い石の赤浦海岸					
基本情報	エリア	島根半島 探訪サイト					
	区分	☒ 地質・地形	☐ 生態	☒ 文化			
	利用価値	☒ 科学	☒ 教育	☒ 観光・ツアー			
	所在地	出雲市坂浦町坂浦					
	アクセス	山陰道 宍道ICから約20km、約35分。 一畑電鉄 雲州平田駅から平田生活バスにて坂浦線、約35分坂浦車庫下車、坂浦港の東側より山道を徒歩約50分。					
	周辺施設	☐ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☐ 駐車場(台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☐ 観光施設()					
	看板整備						
	留意点					位置情報	c-2
保護・保全	法規制・関連団体等						
	保全メモ						
サイトの解説	みどころ	赤色変質した流紋岩の円礫が幅200メートルの海岸の約70%を占める。					
	地質・地形	赤浦海岸は、坂浦の集落から西に約700m離れたところにある礫浜海岸である。海岸の幅は約140mであり、15cm以下の円礫が海岸全体を覆う。円礫の構成は、斜長石の斑晶を伴った流紋岩と安山岩の2種類の岩石よりなる。流紋岩は、灰白色、黄褐色、淡赤色、赤色、淡緑色、緑青色など多様な色合いを示す。安山岩は、色調の変化が少なく、暗黒色のみである。このような多色性の海岸であるが、黄褐色から淡赤色の礫が全体の約70%を占め、安山岩の円礫は少ない。汀線付近の流紋岩円礫が海水でぬれると、黄褐色から淡赤色が一層、濃く見られるため、全体として赤色の目立つ海岸となる。 赤浦海岸の一带は、緑色流紋岩の凝灰角礫岩や凝灰岩のほか、安山岩溶岩および同質の火山物質を含む凝灰質礫岩・砂岩よりなる。これらの地層は、北東―南西方向にひろがり、北西方向へ60度傾斜した単斜構造をなしている。赤浦海岸から400m北東に離れたところにある地蔵鼻には黄褐色～淡赤色の流紋岩が分布しており、海食崖から崩落した転石が多くみられる。流紋岩の性質が類似していることから、赤浦海岸の礫の供給先とみなされている。海岸の東端にはポットホール(甌穴)がある。					
	歴史・文化 生物・生態 等	一畑寺(出雲市小境町803)の本尊・薬師如来像(木造秘仏)が平安時代 894(寛平6)年にこの赤浦から漁師・坂野与市によりすくい上げられたという伝説があり、その仏像を一畑山の山中に薬師堂を設け、安置したことが一畑寺の始まりとされる。古来一畑薬師を信仰する人や地元の人の間では聖地とされる。江戸時代末期には、島根半島四十二浦巡りの結願としても巡られた。 与市は、後に浦燃法師となり、この寺の開基とされる。現在、この赤浦の海岸の石は持ち出し禁止とされ、持ち出すと災いが及ぶと、地元では言い伝えられている。『雲陽誌』楯縫郡小境の項目に記されている。					
写真・図等							
参考文献		鹿野和彦・中野 俊(1986) 恵曇地域の地質					